

消化器内科シラバス

【はじめに】

消化器内科は、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓疾患の診断と治療を幅広く扱っている。対象疾患としてはまず癌であり、食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌・胆道癌・膵臓癌などについて内視鏡、超音波を用いた各種検査、内科的治療（内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、経皮的ラジオ波焼灼術、胆膵内視鏡治療、癌化学療法など）を行うとともに、放射線科や外科と共同で集学的治療に積極的に取り組んでいる。さらに、一般病院として潰瘍、炎症性腸疾患、イレウス、急性・慢性肝炎、肝硬変、胆道結石、胆道炎、急性膵炎などの幅広い疾患に対する診療を行っている。

本実習では、これらの患者を実際に主治医（指導医）とともに担当することで、これまでの医学教育で身につけた知識を基に、問診から、各種検査、診断、治療、患者へのインフォームドコンセント等、実際の医療の流れを生で感じてもらいたい。

当科では消化管・肝臓・胆膵領域の専門医と1週単位でペアとなり、外来・病棟・検査・処置を体験してもらおう予定としている。この実習を通して、チーム医療の遂行に大切な、コミュニケーションや協調に関する能力・態度も習得するよう努力してもらいたい。実習生には単なる「診療の見学」ではなく、積極的な「診療への参加」を期待している。

【当科の特色】

消化管・肝臓・胆膵領域の専門医が複数名所属しており、広島市の中核病院として十分な役割を果たせる体制を整えている。これら各サブスペシャリティ内でのカンファレンスだけでなく、消化器内科全体でカンファレンスを行い、各症例に最も適した診療を行うよう努めている。

【当科で施行している検査・治療】

1) 検査

腹部エコー、造影エコー、肝生検・肝腫瘍生検、上・下部消化管内視鏡、超音波内視鏡（EUS）、腹腔鏡検査、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）、管腔内超音波（IDUS）、経皮経肝胆管造影（PTC）、胆道内視鏡（POCS、PTCS）、超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）など

2) 治療

①消化管疾患：内視鏡的ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡

広島赤十字・原爆病院

的粘膜下層剥離術 (ESD)、内視鏡的狭窄拡張術、内視鏡的消化管ステント留置術、経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)、イレウスチューブ留置術など

②肝臓疾患：内視鏡的静脈瘤硬化療法 (EIS)、内視鏡的静脈瘤結紮術 (EVL)、肝動脈化学塞栓術 (TACE)、ラジオ波焼灼療法 (RFA) など

③胆・膵疾患：内視鏡的乳頭切開術/バルーン拡張術 (EST/EPBD/EPLBD)、内視鏡的経鼻胆道ドレナージ (ENBD)、内視鏡的逆行性胆道内瘻術 (ERBD)、内視鏡的経鼻膵管ドレナージ (ENPD)、経皮経肝胆管ドレナージ術 (PTCD)、経皮経肝胆道内瘻術 (PTBE)、経皮経肝胆囊穿刺吸引/ドレナージ術 (PTGBA/PTGBD)、超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ (EUS-CD) など。

【一般目標】

消化器内科への理解を深めるとともに、チーム医療の実際を経験し、医師としての必要な態度・技術を身につける。

【到達目標 (行動目標)】

- 1) 患者および家族と良好な人間関係を築き、患者の痛みや苦しみを理解できる。
- 2) 診療に必要な情報を収集することができる。
- 3) 担当する患者のプロブレムリストを作成し、以後の計画を立案することができる。
- 4) 消化器内科領域の主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。さらに、腹部エコー、内視鏡検査などの消化器内科医に必須な手技を、実際の器機・模型を通じ体験する。
- 5) 消化器内科領域の主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 6) 必要かつ十分な診療記録 (カルテ) を作成できる。
- 7) 症例の要約 (サマリー) を作成し、適切なプレゼンテーションができる。
- 8) 医療チーム (医師、薬剤師、看護師、その他の医療職) の役割を理解し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

実習時には学生ではなく、社会人 (Student Doctor) としての態度が要求される。

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと (ジーンズ・サンダルは禁止)。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には、社会人としての礼節を保ち、

態度、言葉遣いに気を配ること。

3) 守秘義務に留意すること。個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護に気を配ること。

4) 時間厳守。無断欠席をする場合、以後の実習参加は不可とする。やむを得ず欠席、遅刻の場合は必ずペアとなっている指導医に届け出ること。

5) 実習中は自身の所在を明らかにし、連絡が取れるようにすること。

6) 患者さんや他の医療スタッフに、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

【実習の内容】

1) 第1週の月曜日午前8時30分よりオリエンテーションを行う。(時間までに、5号館3階副院長室を訪室すること。)第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、指導医の指示に従うこと。以後、消化器内科チームの1人として外来、病棟業務に参加する。

2) 消化器領域(消化管、肝臓、胆膵)における様々な検査・治療法を見学・体験し、理解を深める。

3) 病棟では指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、病歴聴取や診察をおこなう。得られた情報をもとに病態について指導医と検討し、検査計画・治療計画を立てる。

4) 主治医がカルテに記載すべき事柄は、すべて学生用の紙カルテ(模擬カルテ)に記載する。これは実際に医師が用いる電子カルテとは異なるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、漏れなく正確に記載すること。

5) 木曜日と金曜日のカンファレンスでは、内容ある発表ができるよう患者情報をまとめ、事前に十分な準備をしておくこと。

【週間スケジュール】

基本は指導医の指示に基づき行動するため、指導医のスケジュールを把握しておくこと。以下に各スタッフの外来・検査の予定表を記載する。

広島赤十字・原爆病院

	診察区分	月	火	水	木	金
外来	1診	午前)齋 宏 午後)井上基樹	毛利律生	午前)古川善也 午後)田村陽介	齋 宏	午前)古川善也 午後)田村陽介
	2診	金尾浩幸	松本能里	金尾浩幸	坂野文香	毛利律生
	8診	森 奈美	辻 恵二	辻 恵二	当番医	森 奈美
	10診	後藤久美子	高木慎太郎	本田洋士	井上基樹	高木慎太郎
	15診				久留島仁	
	16診		稲垣克哲		羽田 裕	
検査担当 (午前)	超音波 (腹部)	古川善也・本田洋士 稲垣克哲・田村陽介	森 奈美・井上基樹 金尾浩幸	高木慎太郎 齋 宏・羽田 裕	毛利律生	辻 恵二 後藤久美子
	内視鏡 (上部消化管)	田利晶・辻 恵二 高木慎太郎・毛利律生 坂野文香・井上基樹	古川善也・齋 宏 本田洋士・後藤久美子 羽田 裕・田村陽介	田利晶明・久留島仁 井上基樹・森奈美 毛利律生・後藤久美子	古川善也・金尾浩幸 後藤久美子・羽田 裕 稲垣克哲・田村陽介	松本能里・井上基樹 金尾浩幸・齋 宏 田村陽介・稲垣克哲
	腹腔鏡				辻 恵二・森 奈美・本田洋士)	
	内視鏡 (下部消化管)	田利 晶・毛利律生 坂野文香・後藤久美子 羽田 裕	毛利律生 金尾浩幸 後藤久美子・羽田 裕 稲垣克哲・久留島仁)	毛利律生 久留島仁 井上基樹 齋 宏 羽田 裕・坂野文香)	高木慎太郎・田村陽介 松本能里・金尾浩幸 後藤久美子・稲垣克哲	松本能里 金尾浩幸 井上基樹 齋 宏 稲垣克哲
検査・治療担当 (午後)	ESD	毛利律生・金尾浩幸・坂野文香 後藤久美子・稲垣克哲(松本能里)		坂野文香・後藤久美子)	金尾浩幸・毛利律生・坂野文香 (松本能里)・羽田 裕)	
	ERCP		古川善也 齋 宏 後藤久美子・羽田 裕 稲垣克哲 井上基樹		古川善也 齋 宏 井上基樹 羽田 裕 後藤久美子 稲垣克哲	
	E IS			辻恵二・森奈美・高木慎太郎 本田洋士 後藤久美子 羽田裕 稲垣克哲 田村陽介		
カンファレンス	エコー下肝穿刺 造影エコー	辻恵二・森奈美・高木慎太郎 本田洋士・田村陽介	辻恵二・森奈美・高木慎太郎 本田洋士・田村陽介		辻恵二・森奈美・高木慎太郎 本田洋士・田村陽介	辻恵二・森奈美・高木慎太郎 本田洋士・田村陽介
					肝臓カンファレンス 胆臓カンファレンス	消化管カンファレンス 肝臓カンファレンス

- 注) 1) 朝の病棟回診、指導医とのミニカンファレンスは8時から開始。
 2) 朝の外来 検査は基本的に8時30分開始。
 3) カンファレンスは午後5時開始。

広島赤十字・原爆病院

【評価】

学生の評価は、広島大学からの提示に従い、以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
部長試問	20点

【当科スタッフ】

○消化管

第一消化器内科副部長 毛利律生（平成11年卒）

第一消化器内科医師 金尾浩幸（平成12年卒）

○肝臓

第二消化器内科部長兼肝臓センター長 辻 恵二（平成2年卒）

第二消化器内科副部長 高木慎太郎（平成10年卒）

第二消化器内科副部長 森 奈美（平成10年卒）

第二消化器内科医師 本田洋士（平成17年）

○胆膵

副院長兼第一消化器内科部長兼内視鏡センター長 古川善也（昭和55年卒）

第一消化器内科副部長 井上基樹（平成10年卒）

第一消化器内科医師 齋 宏（平成12年卒）

○レジデント医師

第一消化器内科医師 後藤久美子（平成23年卒）

第一消化器内科医師 稲垣克哲（平成24年卒）

第一消化器内科医師 羽田 裕（平成24年卒）

第一消化器内科医師 田村陽介（平成25年卒）

【参考図書、文献】

当院では電子カルテ内に今日の診療（今日の治療指診、今日の診断指針、治療薬マニュアル、新臨床内科学、内科診断学など）が納められているので、適宜参照できるが、実のある実習となるよう、消化器内科領域の教科書を読んだ上で、実習に参加してもらいたい。

広島赤十字・原爆病院

- 1) 内科診断学 福井次矢ら編 第2版 医学書院
- 2) 内科レジデントの鉄則 聖路加国際病院内科チーフレジデント編 医学書院
- 3) 消化器疾患最新の治療 2015-2016 菅野健太郎著 南江堂
- 4) 輸液ができる・好きになる 今井裕一著 羊土社
- 5) 朝倉内科学 矢崎義男総編集 第10版 朝倉書店